

2024年度 第2回シニア委員会
・シニア委員会/Sリーグ委員会 会議資料

- ・ シニア委員会会議

日 時 令和 6年 7月6日(土) 午前9時-10時20分

- ・ S・リーグ委員会会議 午前10時30分-12時00分

場 所 植草学園大学M棟1階 21・22講義室

〒264-0007

千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3

(公社)千葉県サッカー協会 シニア委員会 主催

※次回、第3回シニア委員会 9/14(土)予定

		千葉県サッカー協会シニア委員会 委員長 高田 敏	
日時	令和 6年 7月6日(土) 午前9時-10時20分		
場所	植草学園大学 M棟1階 21・22講義室 〒264-0007 千葉県千葉市若葉区小倉町1639-3		
参加者	高田敏、小林正喜、吉本雅一、中野秀昭、福岡宏平、足利尚紀、水島壯也、柳田健太郎、高橋征良、 平野幸弘、小倉曉博、真茅尚徳、呉羽忠彦、江澤 秀和、堂本雅一、神之田勝博、伊藤喜郎、板脇岳彦、 井上龍彦、橋本直幸 参加者 19名 委任状 7名 合計 26名(定数 31名)(本委員会19条に基づきシニア委員会成立) (監事・医事 1名)		
	定時になり、シニア委員長 高田 敏 の挨拶で開始する。 進行=中野秀昭 事務局 議事進行=高田敏委員長 議事録作成=柳田健太郎		
	会議に先立ち議事録署名人を議長より選出指名する。 議事録署名人 吉本 雅一 、 水島 壯也 両氏を指名		
	(S・リーグ委員会) 10時30分-12時		
	・シニア委員会より、参加者上記、19名+委任状 7名 合計26名		
	・監事・医事より、参加者1名		
	・リーグ委員、74名+委任状 9名 合計 83名 23'リーグ役員資料、参照 参加者合計 94名 委任状提出 16名 合計 110名(定数 133名)(本委員会19条に基づきシニアリーグ委員会成立)		
	会議に先立ち議事録署名人を議長より選出指名する。 議事録署名人 古田 直俊(千葉コスモス) 、 森崎 彰英(Y-AJACK) 両氏を指名		
議題、1	追加登録・スケジュール管理・グラウンド管理の業務簡略化について	シニア委員会	資料① 協議
議題、2	重複・アンダー登録者の違反について	シニア委員会	資料② 協議
議題、3	試合日程決定後のキャンセルをするチームへの罰則基準について	シニア委員会	資料③ 協議
議題、4	審判講習会の実地について	シニア委員会	別紙① 要承認
議題、5	HPの活用UPについて、広報内容等の確認・準備	シニア委員会	資料④ 協議
議題、6	第1回シニア委員会にて協議した、40・50代選手権終了に伴い、 来年度からの全世代、40・50・60代の運営方法について	シニア委員会	資料⑤ 協議・要承認
議題、7	JFA全日本サッカー大会O-60,O-70誘致(2026年度)について 全国シニア大会、60・70代大会開催 (2023年度第1回シニア委員会 承認済) に関し、2026年8月ミニ国体開催有り、NGとなりました。 従って、 2027年開催の要承認 (開催承認後、準備)、市原市サッカー協会依頼 ・下準備後、県協会へ依頼報告)40代【2018年開催】、50代【2022年開催】、2027年JFAへ下準備報告、60・70代開催申請。 ・JFAには打診(下確認:24年:秋田にかいま、25年:藤枝市開催予定。	シニア委員会	要承認
議題、8	KTFA関東シニアサッカーチャンピオンズリーグⅡ 第6回(案) 12/7(土)・8(日)開催予定 ⇒ 関東シニアチャンピオンズリーグⅡ第6節兼山越杯と名称変更	シニア委員会	要承認
議題、9	事務局より報告	Sリーグ委員会	
	・2024年度事業確認・報告	資料⑥	確認・報告事項
	・千葉県シニア選手権O-60結果報告	資料⑦	報告
	・第3回千葉県シニアフェスティバル(関東シニアⅡ大会) 8/11(日)・12(祝日)		報告
	・JFA第12回O-40サッカー大会関東地区予選会 結果報告(FC船橋40)	別紙②・③	報告
	・JFA第24回全日本O-60サッカー大会 結果報告(千葉四十雀60)	別紙④	報告
	・熱中症対策	資料⑧	確認
	・WBGT温度計所有者の確認(追加)	資料⑨	確認
	・落雷・グラウンド水没等での試合中止についての再確認		確認
	・飲水時の選手交代の(夏場での注意事項)再確認		確認
	その他・・・(提案議題が有りましたら事前に連絡をお願いします)		

※井上顧問による、会議の総括・講評

- ①リーグ戦のチームメンバー申請は2月中旬のJFA新年度登録を完了し、選手証が発行されてからとする。
※現状、12月に提出しているので、その後の変更が多い。
※リーグ戦の開始時期は少しだけ遅くなる。
- ②個人登録費の支払いは、2月中旬のJFA新年度登録が完了した時点で実施する。
※現状は1月に支払っていただいているが、見込み金額の為、その後の変動が多く発生する。
もしくは、個人登録費の管理をやめて、1チーム当たり10000円など、統一してしまう。
※チームの登録人数に差があるので不公平感はある。
現在、2,000名以上の登録選手があり。
@500登録費で、100万円以上となっている。この費用の確保は運営上必要。
リーグ登録チーム@10,000統一とすると、90万円の計算となるが、この費用でまかなえるか？不公平感もある。
- ③メンバー表や結果のアップはゴールノートクラウドかシニアのホームページのどちらか1つとする。
同じ内容を両方にUPするのは作業が増えるだけ。
問題は記録の集計の簡素化が必須。H.P上ではできず、エクセル利用、記録係の手作業で行うか、GNCで集計を自動で出来れば簡単。
GNCデータをそのまま利用できると簡単なのですが、出来ない。CSV取り込みも出来ない。
メンバー表共々、提出メンバー表はプリントできますが、選手登録番号が入っていない。
GNC利用が全てではないが、利用費用はかなり低く、閲覧だけであれば、かなり安価。
市販ソフトでの取り込みが出来ないのが難点。
独自にソフトを組めばよいが、大変な労力、費用が掛かる。
どちらにしても一長一短な感じがある。
- 追加登録作業を月2回、重複登録も移籍登録規則同様、選手2回迄とする案は？
まずは追加登録業務の簡素化を進めた方が良い。
- H. Pの利用頻度を上げる、その為に必要な事を共有すれば、水島委員だけに負担が掛からないで済むかもしれない。
- ④スケジュール管理で、日程が決定した後の変更をしたりする苦勞の軽減をどうするか？
試合キャンセルチームが出た時などに時間をずらしたり、役割を変更する必要はあるか？
スケジュール決定後（更新）の広報はHPにアップした方が良い。
- ⑤グラウンド利用料の支払い方法。唐木田役員が各グラウンドに足を運んで支払いをする軽減。
支払い担当チームが立て替え出来ないか？案として領収書をスマホで写真を撮って福岡会計に振り込み先とともにラインで送る。振込日を知らせて各チームに振り込みをする。
振込手数料はかかってしまうが・・・
現物の領収書は後日（委員会時等）の回収でもいいのでは？
各会場の役員分散は、各世代リーグ委員との連携をおこなえる工夫が必要。
- ⑥懲罰報告・結果もHPにアップした方が良い、HPの活用アップにも繋がるのでは？

●重複・アンダー登録者の違反について

※6/29（日）フクダ電子フィールドにて1985八千代 vs. 龍子会50の試合で
重複・アンダー登録規則違反による没収試合が発生。
片平役員・唐木田役員より、意見が出ています。

例 重複登録者の出場枠が守られていない

重複登録先チームが複数ある

上位カテゴリーからの重複登録選手が同時に2名以上出場している。

これらは本部でのチェックは不可能（メンバー表に重複としか書かれていないため）

- ・メンバー表のリニューアルも必要
- ・重複選手枠違反の場合もチャレンジからフレンドリーに変更など懲罰を科してはどうか？
- ・チーム数も多くなり、事業も多岐に亘り、スケジュール作成の際、各チームの要望を聞いて各チームの要望を反映させるには、非常に厳しくなっているのが現状かと思います。
- ・各チームや個人の利益より組織の利益（運営の簡素化）を優先する時期にきているかと感じます。
- ・個人的には、スケジュールを難しくしている原因は以下の通りかと思います。
 - ①重複に頼らないと人数が確保できない。
 - ②世代間での複数チームを要するチーム。
（アンダー、オーバーにたよらない独立チームではない）
 - ③土曜日、祭日不可チーム。

他にも、問題点があるかと思いますが、
ここらへんの点を解決する方が先かと思います。

●試合日程決定後に、キャンセルをするチームへの罰則基準について

※2025年度より実地

- ①・勝ち点・得失点は現状通り、0-5不戦敗。
- ②・年間3回以上のキャンセルは次年度登録を見合わせる。
- ・キャンセル1回目　チャレンジからフレンドリーに変更
キャンセル2回目　次年度の登録はできない
3回以上のキャンセルはフレンドリーへ登録変更もしくは登録抹消とする。
 - ・キャンセル2回で勝ち点3をマイナス
キャンセル3回で更に勝ち点5をマイナス
キャンセル4回で次年度登録不可とする
 - ・年間1回はイエローカード、2回目はレッドカード（カップ戦を出させない）
3回目以降はチーム登録を抹消。
 - ・関東チャンピオンズプレやその他の県大会等の本部や審判、ボールボーイ等の手伝いをキャンセルチームメンバー（代表者だけでなく）が手分けして手伝い、シニア委員会の活動運営に協力する形が良い。最低5名以上など。
また、キャンセルチームを全体に周知する。
 - ・該当チームは次回以降の試合で前々審/B B、後々審/B B、本部等、会場1日拘束とする。
- ③・キャンセル時の役割（本部　審判　ボール係）は予定通り行う
- ・相手チームの仕事も含めて対応する（審判、本部、ボールボーイ）
 - ・出来るだけ登録外の選手を集めて練習試合として、スケジュール管理を変更しないで済む方法をとる。
- ④・キャンセル規定の前に決められたスケジュールをこなせない理由を鮮明にする必要があるかと思います。
- <基準>
- ・1カ月以上？前に決定していたスケジュールを2週間以内？にキャンセルした場合に罰則の有無を決定する。
- <審議>
- ・事情は確認しなくてはならない（↓ありそうなこと）
（罰則適応）
 - * 人数集まらない　他会場でカテゴリ違いの試合があつて間に合わない
 - * 同じ会社所属どうしてもな仕事になる、感染関係（証明させるのが難しい）
（仕方なし）
 - * 川嶋さんへ打診、了承のもと該当チームにて日程調整を行い（他チームと入替等）
関係するチーム全て了承をもらって変更対応を成立させる
 - * 登録外選手集めて練習試合にはした（リーグとしておかしくなるのでダメか？）
- ※委員会？選ばれた役員？にて罰則適用か仕方なしか判断

H.P活用UPについて

資料④

1、水島役員(登録業務)軽減方法、(井上提案)

- ・毎週登録を2週に1回にする、この時(メリットデ・メリット) 不要かどうか？
- ・申請資料のH.P UPによる申請チーム、水島役員の簡素化 (H.P利用UPに繋がる)
- ・登録担当者の分散化(世代担当者を決め、世代毎に管理)、他等々。(井上顧問提案)

2、グランド役員(唐木田役員の負担軽減)以前決めた世代役員による担当分散加。

- ・唐木田役員をトップとし、世代担当者へ指示伝達により、日々、
毎試合週の関り配分など。
- ・月単位の事前確認打ち合わせ構築等。
- ・グランド管理は以前にも決定、各世代記録管理担当者が決定。役員への分散化
- ・グランド情報更新(未登録会場、会場名の訂正、注意事項の更新、等。

※各世代役員との連携がうまくとれておらず、唐木田役員へ負担増となっている。

3、①一番大変なスケジュールの役員振り分け

(かなりの頻度で担当者スケジュール役員で会議し大凡決定)後、

②川嶋役員が再検証し、試合毎の役員振り分け、各チームの条件を鑑み再設定し、
各チームへ案内。

※①の作業は5、6名で決定。この作業は分担されている。

今後A.I機能がこの辺りもフォロー可能。但し、現在は運用できず。

②の作業は横の連携が難しく、過去に井上顧問が全ての作業を担っており、
大変さを理解し、連携が難しい作業になります。

(②に関し、川嶋役員より、提案をお願い致します)

※スケジュール広報は案内後(変更調整依頼も出る)、又、スケジュール決定後の
広報もH.PにUPし、各チーム役員はH.Pで確認する。

4、懲罰報告役員、片平役員による結果報告、

*懲罰報告、結果もH.Pにて報告案内とする。(H.P活用UPに繋がる)

5、真茅H.P担当役員による提案をお願いします。

※ツールバー(リンク先貼り付け準備) 閲覧回数(カウント)が見える化準備

下のリンク先が見づらい、見やすい方法の提案依頼！

・広報方法(上記内容を追記する準備)、手間は？

事務局として活用する為の情報も更新。

大会試合結果の広報(年度事業のUP、大会結果(結果のリンク先貼り付け)、
例)カップ戦組み分け(決定済)

・年度申請書類、大会要項等の更新UP

2025年度選手権の運営（組み分け等）案

資料⑤

2024年度 40代参加チーム：23チーム（4組 5・6チーム）
50代参加チーム：19チーム（4組 4・5チーム）
60代参加チーム：11チーム（2組 5・6チーム）
決勝トーナメント：8チーム（60代は：4チーム）

※ 各組分け=3チームは絶対に避ける。（70代は参加チームが3チームの為、70代以外）
各組4チーム、多くても最大組5チーム以内とし、70代以外3チームとはしない案。
今後、増加していく事を想定し、事前に組み分けを想定する。

1 決勝トーナメント方式（各組上位2位まで出場）試合数と、試合消化週の確認

- ・各組、組み分け方法と決勝トーナメントの関係
- ・決勝トーナメント、最大16チーム（予選8組×2チーム）32チームまで組める。
予選4組の場合（各上位2チーム） 8チームでトーナメント
予選5組の場合（各上位2チーム） 10チームでトーナメント
予選6組の場合（各上位2チーム） 12チームでトーナメント
60代3組（**4チーム**）予選リーグ日程の都合上、12チーム以下・6チーム以上とはせず、
3チーム以下は避ける。
例）40代24チーム以上、4チーム6組 or 6チーム4組 消化日程を考慮し、
4チーム6組、決勝トーナメント12チーム。

・6チーム予選リーグ時、**15試合**（4組**6.0**試合：5週）8チーム決勝T（8試合：3週）**6.8**試合：8週

・4チーム予選リーグ時、6試合（6組36試合：3週）12チーム決勝T（12試合：4週）48試合：7週

※ 試合数・必要週、共に少なく済む。5・6チーム予選リーグ共に試合数は増えるが、
掛かる週は変わらない。

今年の6チーム組（試合数15試合、消化5・6週必要）

4チーム組（6試合：3週）、5チーム組（10試合：5週必要）

2 50代選手権も同様

50代もなるべく4チーム予選リーグ、8チームから最大16チームの決勝トーナメント。

各予選リーグ組み分けより、上位2チーム（8組）決勝トーナメント、4週で終了

50代、2024年度19チームの為、4・5チームで予選リーグ4組、上位2チームで
決勝トーナメント8チームとなっている。

20チーム時点で、5チーム4組・4チーム5組とするのが良いか事前に確認。

予選リーグ4チーム5組の方が、試合数・必要週とも少なく済む。

10チームで決勝トーナメント（4週で済む）。

8チームで決勝トーナメントにしても3週。

3 60代は12チームになった時点で、4チーム3組（3週各6試合）予選リーグ、

60代、2024年度11チームの為、5・6チームで予選リーグ2組、上位2チームで
決勝トーナメント4チームとなっている。

各組上位2チーム×3組、6チームで決勝トーナメント。準々決勝、3週（計6週）で
終了。

2024年度・事業計画書

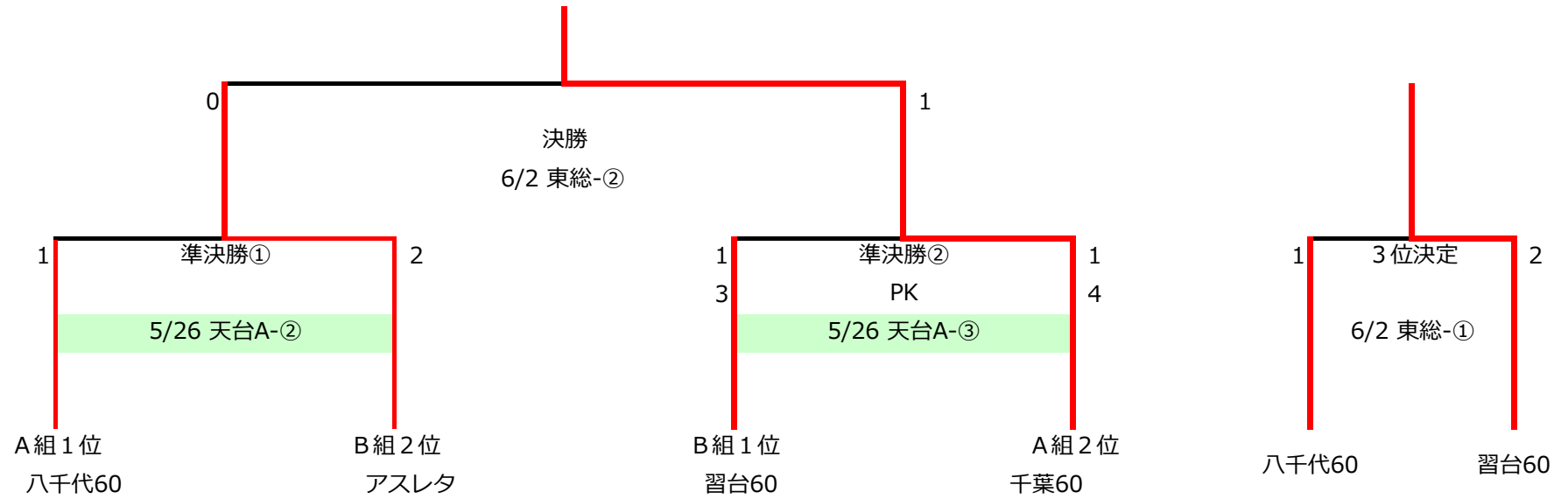
主催県内大会・主催事業

資料⑥

No	大会(事業計画上の正式名称)・事業名	大会(事業)内容	開催(事業)期間・開催回数	参加チーム数	開催会場	備考	予算額
①	2024年シニア選手権O-40・50大会	2024年千葉県シニア選手権兼JFA全国シニア大会予選会(40・50)	1月下旬or2月初旬～4月初旬		県内各地		
②	2024年シニア選手権O-60・70大会	2024年千葉県シニア選手権兼JFA全国シニア大会予選会(60・70)	4月中旬～6月中旬		県内各地		
③	2024年度千葉県シニアリーグ	2024年千葉県シニアリーグ(40・50・60・65-70)	2月初旬～9月初旬		県内各地		
④	2024年度千葉県シニアリーグカップ	千葉県シニアリーグカップ(40・50・60)	8月～11月		県内各地		
⑤	怪我予防対策に関する勉強会	怪我予防対策に関する勉強会	5/19(日)・6/2(日)		野フィールド会館等・CFA事務所		
⑥	救急救命講習会(AED)	救急救命講習会(AED)	4/13(土)		植草学園大学		
⑦	ねんりんピック選考・強化試合	ねんりんピック選抜選考・強化	3月～10月		スポレクパーク地		
⑧	KTFA第19回関東O-60サッカー大会	KTFA第19回関東O-60サッカー大会(アスレタ)	9/21(土)・22(日)	8チーム	千葉県	天台	
⑨	関東シニアチャンピオンズリーグプレII第6節兼山越杯	関東シニアチャンピオンズリーグプレII第6節兼山越杯	12/7(土)・8(日)		未定		
⑩	KTFA関東シニアサッカーチャンピオンズリーグII	KTFA関東シニアサッカーチャンピオンズリーグII	5/3・4・6/8・9・8/11・12・9/7・8・11/9・10・12/7・8	8or10チーム	県内各地		全6回予定
⑪	第4回千葉県高校OBフェスティバル	第4回千葉県高校OBフェスティバル	2025/1/12(日)・13(祝日)		JFA/CFA		
⑫	神栖市長杯	神栖市長杯:大会派遣(1・2部カップ戦の1位・2位/3部カップの戦1位)	12/7・8日? 未定		神栖市		
⑬	シニア委員会会議24年度分	シニア委員会会議(24年度分:5/25・7/6・9/14・11/23・1/11・2/1)	全6回		植草学園大学		
⑭	CFA交流事業	CFA交流事業(4月-25'3月)月3回開催(24人x回数)	2024/4月～2025/3月	24人x回数	CFA幕張		

主管等で関東・全国持ち回り大会・全国大会事業及び隔年等の事業

	大会名		開催期間	参加予定チーム	開催会場	備考
1	JFA第12回全日本O-40サッカー大会関東予選	JFA第12回全日本O-40サッカー大会関東地区予選会(FC船橋40)	2024/6/1日・2日	10チーム	埼玉県	関東枠4
2	JFA第23回全日本O-50サッカー大会関東予選	JFA第23回全日本O-50サッカー大会関東地区予選会(千葉四十雀50)	2024/4/27日・28日	10チーム	神奈川県	関東枠4
3	JFA第25回全日本O-60サッカー大会関東予選	JFA第25回全日本O-60サッカー大会関東地区予選会(千葉四十雀60)	2024/11/30日・12/1日	8チーム	東京都	関東枠2
4	JFA第19回全日本O-70サッカー大会関東予選	JFA第19回全日本O-70サッカー大会関東地区予選会(ACちば70)	2024/11/16日・17日	8チーム	茨城県	関東枠2
5	KTFA関東シニアサッカーチャンピオンズリーグII	KTFA関東シニアサッカーチャンピオンズリーグII	5/3・4・6/8・9・8/11・12・9/7・8・11/未定・12/7・8	8or10チーム	関東各地	全6回予定
6	KTFA第18回関東O-40サッカー大会	KTFA第18回関東O-40サッカー大会(40代1部:リーグ1位)	2024/12/7日・8日	8チーム	栃木県	
7	KTFA第18回関東O-50サッカー大会	KTFA第18回関東O-50サッカー大会(50代1部:リーグ1位)	2024/9/7日・8日	8チーム	山梨県	
8	KTFA第19回関東O-60サッカー大会	KTFA第19回関東O-60サッカー大会(アスレタ)	2024/9/21日・22日	8チーム	千葉県	天台
9	KTFA第12回関東O-70サッカー大会	KTFA第12回関東O-70サッカー大会(千葉古川65・70)	2024/9/21日・22日	8チーム	群馬県	
10	JFA第12回全日本O-40サッカー大会	関東代表JFA第12回全日本O-40サッカー大会参加(FC船橋40)	2024/11月2日～4日	16チーム	静岡県	藤枝市
11	JFA第23回全日本O-50サッカー大会	関東代表JFA第22回全日本O-50サッカー大会参加	2024/6月29日～7/1日	16チーム	栃木県	宇都宮市
12	JFA第24回全日本O-60サッカー大会	関東代表JFA第24回全日本O-60サッカー大会参加(千葉四十雀60)	2024/6月8日～10日	16チーム	秋田県	にかほ市
13	JFA第18回全日本O-70サッカー大会	関東代表JFA第18回全日本O-70サッカー大会参加	2024/6月8日～10日	12チーム	秋田県	にかほ市
14	第37回ねんりんピックはばたけ鳥取2024	第37回ねんりんピックはばたけ鳥取2024:千葉県シニア	2024/10/19～22日	64チーム?	鳥取県	



※予備日（・・・他調整有）

- ※ 熱中症対策として、チーム・選手の体調管理は各選手、チーム責任者はしっかり把握する事！
 - ※ 本部担当チームは夏場、試合時のWBGT温度計で温度の確認をし、審判報告書右欄に記入する事！
 - * チーム代表者・責任者は選手の体調管理を常に確認する事。
 - * チームで経口補水液を常に2・3本準備し体調の悪い選手に補給させる事！
 - * チームで日除け、雨除け用簡易テントを準備する事！
 - ・ 体調の悪い選手は人数が少ない時なども、無理に出場させない
 - * 夏場の、飲水、クーリングタイム(日除けの有る所で休み飲水を取る)等、しっかり体調を整える事！
 - * 暑い時期の水準備は各自通常より多く準備させる。
 - ・ チーム内、常に各選手に声掛けし、体調の悪そうな選手を事前に把握できるよう行う。
 - ・ 試合前、試合中に選手の体調状況を確認する事！
 - ・ 熱中症になり易い選手を把握し、常に水分補給、体調を確認する事！
 - ・ 試合前、木曜日から体調を整え、寝不足、飲酒等注意を即す事！
 - ・ 6月中旬より、9月中旬まで特に暑い時期が続きます。水は通常より多く持参して準備させること。
 - ・ シャワーが有る施設ではシャワーを利用し体調を整える事。
 - ・ 試合後各選手の状況を把握し、声掛けし確認して帰宅する事。
 - ・ 帰宅後の選手の体調の確認をする事！
 - ※ 熱中症になり車の中でクーラーを掛け涼んでいる時に心筋梗塞なども起きます。
絶えず各選手の動向を確認して下さい。
 - ・ 試合後、審判・ボール係は充分水分補給を行いながら活動する事。
- [※2023年度に埼玉県のシニアリーグで熱中症か不明ですが、死亡事故が発生しています！！](#)

※ 熱中症対策(本部注意事項内)

- ・ 各クラブ役員は所属選手の体調管理を把握し、夏場時は特に注意し体調不良選手は試合へ参加を行わない。
- ・ 熱中症対策として暑い時には前・後半に飲水・クーリングブレイク(ランニングタイム)で取る。
- ・ 試合会場内(天然芝・人工芝)では補給できないが、ミネラルを多く含んだドリンクを準備する。
- ・ 各チームのベンチの後に簡易テントを準備する事。直射日光を避け、体を極力冷やす。
- ・ 本部に飲水用ボトルの準備を行う。(新型コロナ対策中、現在中止)
- ・ チーム管理で経口補水液を準備する。(体調不良の選手が出た場合は飲んでもOKなので命優先とする)
- ・ 試合後の審判、ボール係は特に注意し飲水を奨励、又、試合後に熱中症で倒れる事が有るので注意。
- ・ 試合終了解散後、チーム内にてライングループなどで安全確認を取ることを推奨します。

*各リーグ2名
責任者

7/6 渡し予定
↓↓↓

配布日
返却

5月25日
10月

世代	リーグ	番号	氏名	返却	番号	氏名	返却	番号	氏名	返却	個数
40代	40代1部	④	HSG：水島		⑬	FC市原：岡田(さかい)		⑲	レーベン：板脇		3
	40代2部	⑤	花園：須永		③	ハルオFC：富岡		⑳	市船OB：廣庭(間宮)		3
	40代3部	②	オクト40：真茅		⑭	大倉商事：柳田		㉑	JSC千葉：中原(松村)		3
50代	50代1部	⑥	千葉50：足利		⑪	浜野50：川嶋		㉒	船橋50：吉本		3
	50代2部	⑦	習志野50：神之田		⑫	Y-AJACK：中野		㉓	九十九里50：田上(冨塚)		3
	50代3部	⑫	1985八千代：唐木田		⑮	龍子会50：守月(阿部)		㉔	千葉55：中島(高木)		3
60代	60代1部	①	千葉60：小林		⑯	古河60：江澤		㉕	浦安60：橋本		3
	60代2部	⑧	大木戸60：堂本		⑰	習志野台65：山本		㉖	習志野60：坂本		3
	65・70代	⑨	ACちば65：呉羽⇒中野		⑱	千葉・龍子会65：井上顧問					2

*2023/5/7高橋征良より1台返却(12台へ:空箱2)

30台在庫(現状29台・1台不明)

26

*2023年習台(1981):谷口より返却済み

13台 不明1台のみ

*10月に返却:管理依頼!

確認後、不足分購入予定! 空箱:1箱あり

